



八田原ダムにおける防災操作による治水効果(令和8年6月24日～26日 低気圧・前線による降雨)

速報

八田原ダム流域では、低気圧や前線の影響により令和8年6月24日の明け方から雨が降り始め、26日の夜遅くにかけて雨が降り続き、降り始めから26日までの流域平均累加雨量は262.3mmを記録しました。

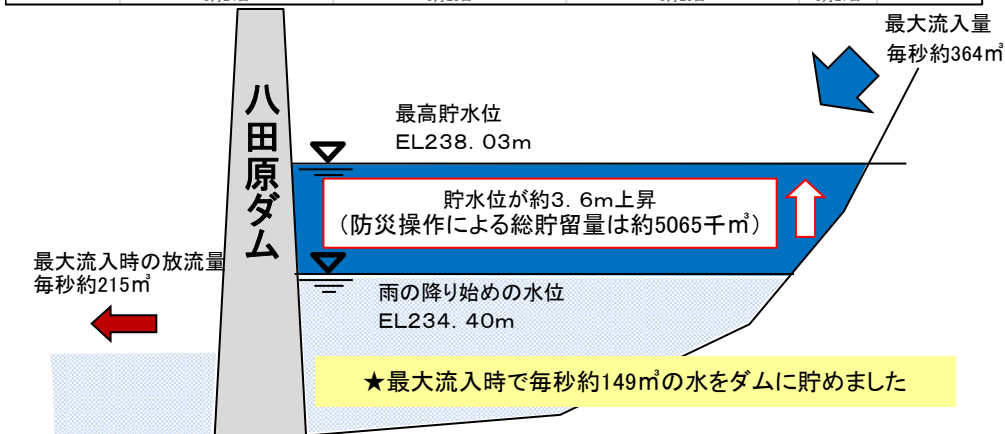
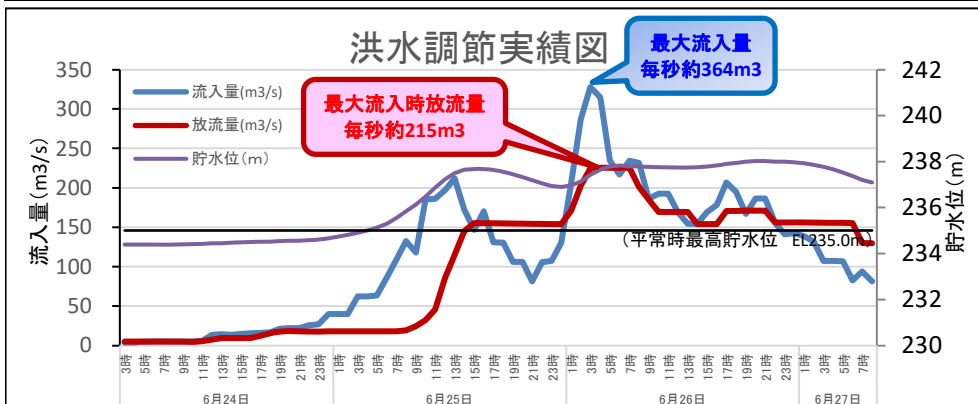
八田原ダムでは、ダムへ入ってきた水の量が最大で毎秒約364 m^3 に達しました。

この洪水において、八田原ダムにおいては防災操作※を行いました。このうち、最大流入時で毎秒約149 m^3 の水をダムに貯め込みました。

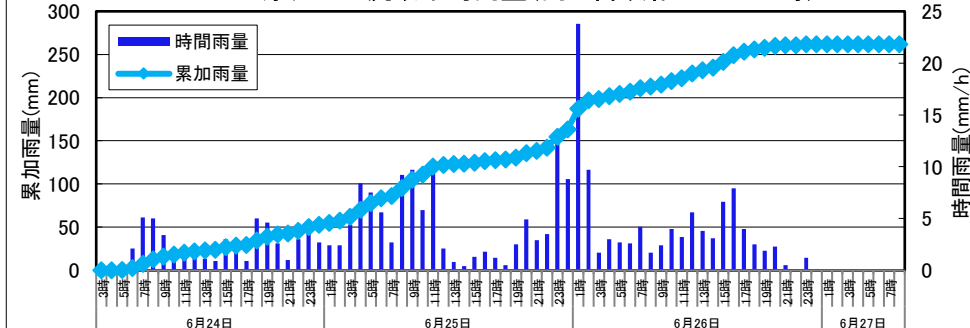
この結果、府中市矢野原付近の芦田川の水位を30cm低減する効果があったと推測され、はん濫リスクの低減に寄与しました。

※『防災操作』とは、大雨などによりダムに流入する洪水の一部を貯水池に貯め込み、放流量を流入量より小さくしてダム下流の河川に流す操作です。

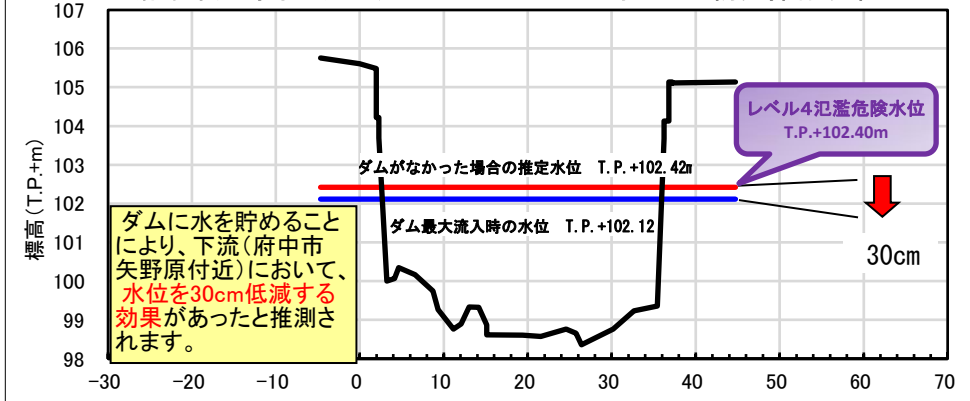
八田原ダム位置図



八田原ダムの流域平均雨量(雨の降り始め:24日3時)



府中市矢野原付近の芦田川における八田原ダムの防災操作効果



※各数値は速報値であり、今後、変わる可能性があります。